

# 代表質問通告書

令和7年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
1	佐藤 浩 (60分) 【一問一答】	1 令和7年度予算編成に係る財政状況について (1) 財政状況を判断するための財政指標の自己分析は ・ 経常収支比率について ・ 実質公債費比率について ・ 将来負担比率について ・ 財政健全化クロス表に関する分析について (2) 自主財源確保策と経費節減策の内容と効果額は ・ 地方税の見通しとその要因について ・ ふるさと納税の見通しと基本的な活用について (3) 今後の投資的事業の内容とおおむねの予算規模について (4) 地方交付税に算入される有利な起債に対する算定分の見通しは	市長
		2 佐藤市政の検証について (1) 「人口減少への対処が最大の市政課題」と捉え、各施策に取り組んだ成果と所見は ・ 人口の社会減に向けた取組について ・ 「働く場を増やす、稼ぐ力を強める」施策について ・ 「人が輝く、人を育てる」施策について ・ 「まちを伸ばす、一関市を伸ばす、地域を元気にする」施策について (2) NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地の利活用について、現状の取組状況と所感は (3) 就任時に示した市政運営について現在の所感は (4) 次期市長選挙への対応は	市長
		3 教育行政の諸課題について (1) 学校部活動の地域移行の課題と解決策は (2) 学校給食費への対応と地元食材の確保は (3) 高校の授業料無償化による中学校教育に及ぼす影響は	教育長
2	千葉 大作 (50分) 【一問一答】	1 令和7年度施政方針について (1) 施政方針について伺う ・ 石破政権は地方創生を語り、令和の列島改造構想を重要政策に掲げている 本市の予算はそのベクトルに沿ったものか ・ “地方創生”を市・町・村支援として打ち出し、若手国家公務員と支援を求める市町村とマッチングし助言する制度を2025年度から始めるとしている この制度の概要を伺う ・ 次期市長選への対応は (2) 副市長の2人目の選任を再度伺う (3) 本市の“地域計画”策定の進捗状況と、今後、耕作される農地の減少が予想される中で市の営農振興策を示せ (4) 統合される岩手県立一関工業高等学校の市内への設置についての不転の決意は	市長
		2 令和7年度教育委員会教育行政方針について 不登校の対応について伺う	教育長

# 代表質問通告書

令和7年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
3	千葉幸男 (40分) 【一問一答】	1 令和7年度施政方針について (1) 施政方針について ・ 令和7年度の目指すべき最大の目標は ・ 職員の(人事)管理について伺う (2) 産業振興・農業振興について伺う ・ 1億円を売り上げる園芸(果菜類)の振興策は (3) 健康寿命の延伸について伺う (4) 物価高の子育て支援策について伺う	市長
		2 令和7年度教育委員会教育行政方針について (1) 市内の給食センターの実態は (2) 今後の見通し、給食センターの在り方は	教育長
4	佐藤真由美 (40分) 【一問一答】	1 地域の活力を高めるまちづくりについて (1) 人口減少が急激に進む中、地域の活力を高めるための具体的な取組について伺う (2) 若者が都会に流出する中、一関に戻ってきたいとなるまちとあるが、具体的な取組について伺う (3) 「TGC teen ICHINOSEKI 2025」の開催の意義について伺う (4) JR一ノ関駅東口工場跡地の利活用について伺う	市長
		2 農業支援について 農業従事者の減少と高齢化により、担い手が不足している 一関市の基幹産業である農業を守っていかなければならないと考える (1) 地域計画における地域農業の在り方について伺う (2) 若者の働く場として、新規就農者確保のための具体的な取組について伺う	市長
		3 学校教育の充実について 子供たちを取り巻く環境が、少子化、核家族化、デジタル化、価値観の多様化など、社会的背景によって大きく変化している 不登校や自死、虐待、子どもの貧困も増加傾向であると言われている 地域社会全体で子供たちを守るための支援が必要と考える (1) 現在の不登校児童数について伺う (2) 教育支援センター「たんぼぼ広場」の内容について伺う (3) 虹の学園とどのような連携を進めているか伺う	教育長

# 代表質問通告書

令和7年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
5	岩 淵 優 (40分) 【一問一答】	<p>1 令和7年度施政方針について</p> <p>(1) 働く場を増やす 稼ぐ力を高める(しごとづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域農業のあり方や将来的な農地利用の姿を明らかにする地域計画の実現と、新規就農者の確保に努める」とあるが、どのような取組を行うのか伺う</li> </ul> <p>(2) 人が輝く 人を育てる(ひとづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の地元定着の取組で、奨学金の返還を支援するとあるが、どのような取組を行うのか伺う</li> <li>・ 地元金融機関が中心となり行う給付型奨学金制度の基金への出捐金を増額する考えはないか伺う</li> <li>・ 「こども誰でも通園制度」の継続と拡充について伺う</li> <li>・ 市独自のモデル事業である「親子通園」について伺う</li> <li>・ ダイバーシティ&amp;インクルージョンの意識の醸成やノーマライゼーションの取組について伺う</li> </ul> <p>(3) 地域・まちを元気にする(まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市営バス、デマンド型乗合タクシーの利便性の向上策と将来について伺う</li> <li>・ 令和7年度は、新たな移動サービス導入の調査研究・協議の最終年度を迎えるが、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う</li> </ul> <p>(4) 市政運営の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ “お役所言葉”を、市民の心に響く分かりやすい言葉の表現に言い換えることについて伺う</li> </ul>	市長
		<p>2 令和7年度教育委員会教育行政方針について 「社会を生き抜く力を育む学校教育の充実」</p> <p>(1) 特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学校の教育相談・就学相談体制の充実について伺う</li> <li>・ 困難さに寄り添った支援について伺う</li> </ul> <p>(2) 不登校対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭との緊密な連携、安全・安心な学校づくりで、未然防止や早期対応の取組について伺う</li> <li>・ 社会的自立支援員の活用などの相談活動の充実について伺う</li> </ul> <p>(3) 教職員の働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学校・教師が担う業務に係る3分類」に基づいた、業務の見直しの状況について伺う</li> <li>・ 事務の効率化と時間外勤務の削減の取組について伺う</li> </ul>	教育長